

日本風景街道 「伊勢熊野みち」



平成19年3月

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会

計画の背景と目的

私たちの故郷、三重県南部地域は、熊野灘に面した雄大な海岸線、温暖な気候、紀伊山地の山並みなど、豊かな自然環境に恵まれているほか、熊野古道をはじめとする「みち」にかかわる歴史・文化資源が豊富に残っており、日本の原風景ともいえる地域です。

そして、平成16年7月には、熊野古道「伊勢路」が世界遺産に登録され、県内外や広く海外からも注目されています。

さらに、平成25年の伊勢神宮御遷宮を控え、「伊勢へ七度、熊野へ三度」と詠われたように伊勢参りと合わせて熊野詣をする人が多く見込まれることから、地域資源を活かした観光振興策として、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による「美しい道づくり」と「地域づくり」が求められているところです。

そのため私たちは、伊勢から熊野へとつづく、江戸時代に培われた旅人へのもてなしのみち熊野古道「伊勢路」の復古・再生をイメージし、地域住民と行政の協働のもと、紀伊半島における環境の保全と自然・歴史・文化的資源の活用により、熊野古道を主体に巡る「ウォーキングルート」とそれらをつなぐ「ドライブルート」を文化的景観の保全と創出に配慮しながら修景していくとともに、「癒しの原風景」や「もてなしの心」が感じられる交流空間を創造し、全国に発信していくことを目的に日本風景街道「伊勢熊野みち」に取り組んでいます。

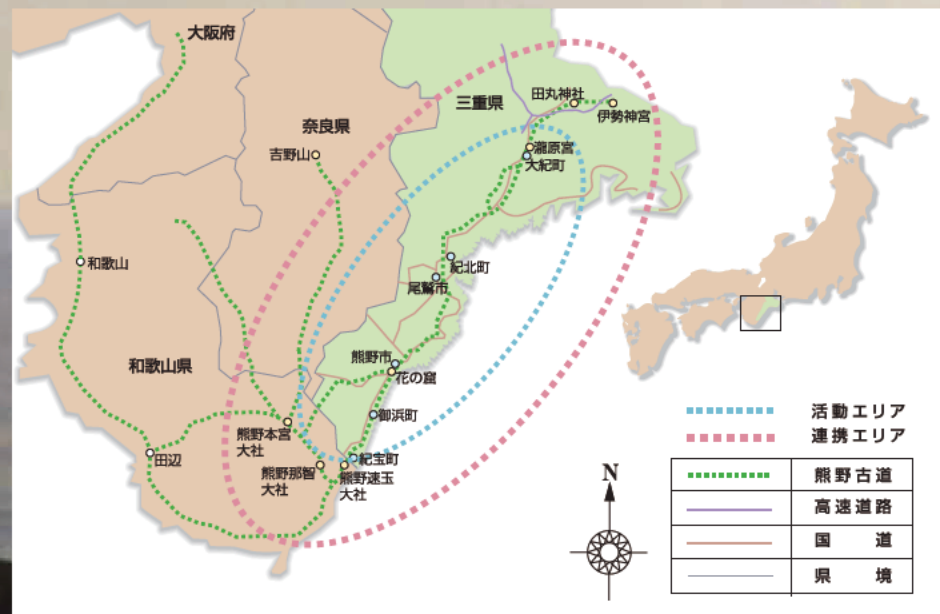
そこで、私たちは、訪れる人が魅力を感じ、地元の人が誇りを持つきっかけとするとともに、推進協議会に参加する各々の団体の連携による広く充実した取組を行うため、これまでとこれからの取組をとりまとめ、活動計画を策定しました。

■ルート概要

日本風景街道「伊勢熊野みち」は、世界遺産熊野古道「伊勢路」を主体とする三重県南部地域一帯を対象ルートとして設定します。この熊野古道「伊勢路」は、江戸期に活況を呈した熊野三山への参詣道で、優れた自然・歴史文化景観を有する地域資源です。

また、本ルートは、熊野古道以外にも主要ルートである国道42号や国道311号などの移動経路のほか、来訪者が利用するまちなかの道についても対象ルートとして考えます。

図1 活動エリア(ルート)と連携エリア

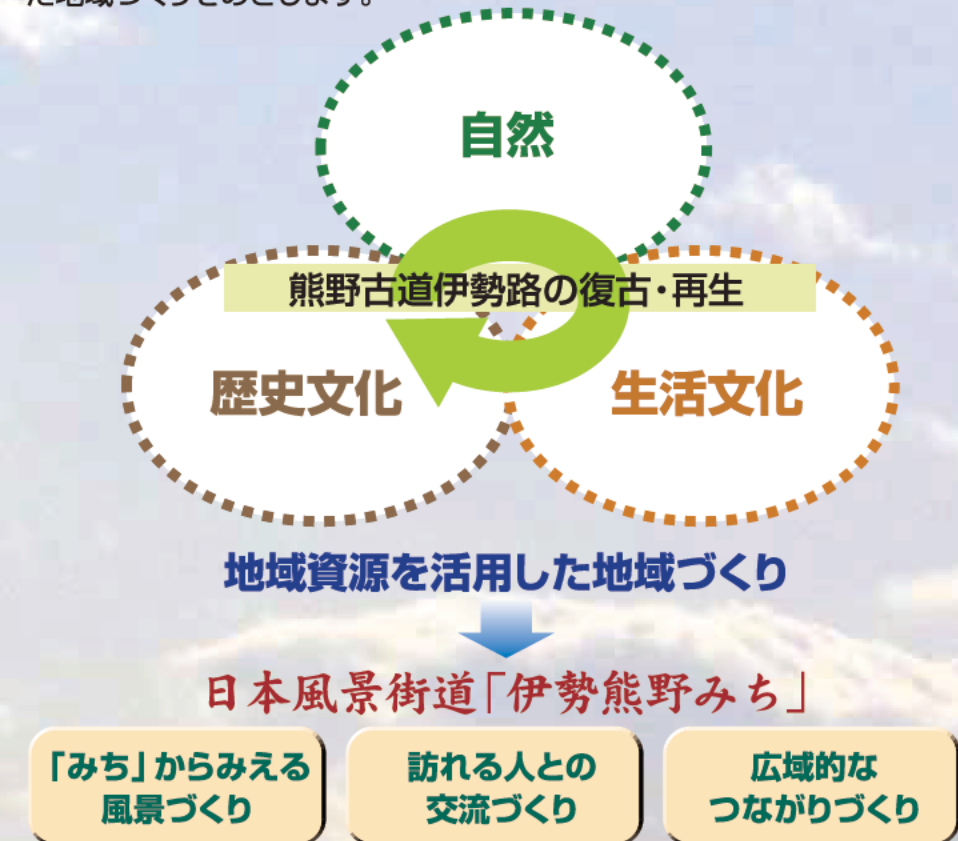


テーマ 世界遺産熊野古道を巡る 癒しともてなしのふれあい街道づくり

ルート名 日本風景街道「伊勢熊野みち」

コンセプト

伊勢から熊野へとつづく、江戸時代に培われた旅人へのもてなしのみち熊野古道「伊勢路」の復古・再生をシンボルイメージとし、地域と行政の協働により、紀伊半島における自然・歴史文化・生活文化資源を活用した地域づくりをめざします。



活動方針

①「みち」からみえる風景づくり

山、森、川、海などの紀伊半島の豊かな「自然」を満喫できる「ドライブルート」や熊野古道をはじめとする地域の歴史や文化、暮らしにふれあえる「ウォーキングルート」など、多彩な「みち」を活用しながら世界遺産のある地域にふさわしい風景づくりを進めます。

②訪れる人との交流づくり

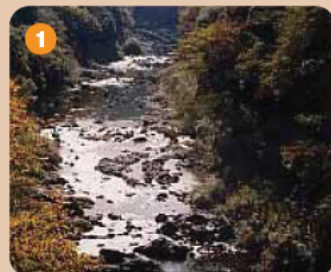
「自発的な行動で自分たちの地域を魅力的にする」ことを基本とし、この地域における「癒しの原風景」や「もてなしの心」を育みながら、地域主体の地域資源を活かした交流づくりを進め、「住みたくなる地域」、「訪れたくなる地域」を創りあげていきます。

③広域的なつながりづくり

熊野古道を軸として伊勢と熊野を結ぶことで地域内の連携を強めるとともに、三重県、和歌山県、奈良県をつなぐを具体化していき、全国の日本風景街道の指定ルートとの情報交換や地域内外への情報発信を通じて、全国的なつながりに発展させていきます。



日本風景街道 「伊勢熊野みち」 全体MAP



1 大内山川※1



2 犬戻り峡の紅葉※1



3 荷坂峠(とるば:マンボウの丘)からの眺望



4 紀伊の松島



5 便石山(象の背)



	熊野古道
	高速道路
	国道



8 橋ヶ崎※2



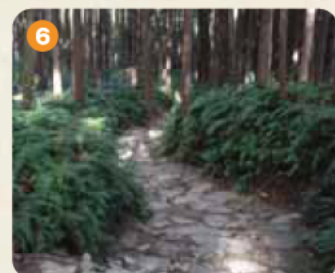
9 鬼ヶ城と七里御浜



10 獅子岩と朝陽



11 丸山千枚田の眺望



6 熊野古道(馬越峠)



7 須賀利漁港



12 風伝おろし(朝霧)※2



13 熊野川沿いの古道



14 飛雪の滝※2

主な取組メニュー

①「みち」からみえる風景づくり

花植え・清掃の継続

- 国道42号などの沿道における花の植栽・清掃のほか、ゴミゼロの啓発活動を実施する
- 花植えや清掃にメンバー以外の方も呼びかけ、地域をきれいにしようとする人を増やす

地域らしさのある景観づくり

- 休耕田や放置された農地を耕作し良好な景観をつくり出す
- 沿道やその周辺地での花木による景観づくりを実施する

看板の規制

- 違反広告物について、設置者を確定し、設置者及び広告主に対する是正指導を行う
- 国道311号周辺の地域における屋外広告物のあり方を検討する
- 屋外広告物規制に関する周知・啓発を図る

道路修景とビューポイント整備

- 防護柵の取替時、新設道路の建設時に景観に配慮した防護柵の使用や舗装等を工夫する
- 国道311号などで眺望の良い「ビューポイント整備」を行う

古道の保全とまち並み景観検討

- 来訪者に気持ちよく安全に歩いてもらうため、古道の保全を行う
- まち並み景観に関して検討する

②訪れる人との交流づくり

マップと案内板の充実

- まちのみどころなどを示した独自のまち歩きマップを作成する
- 熊野古道を中心に地域の情報を含んだルート全体のマップを作成する
- 観光客に道案内や観光資源の紹介、あるいはまちなかへ誘導するための案内誘導板を設置する

地域の魅力体験イベントの実施

- 熊野古道を歩くことや自然・文化資産をめぐるまち歩きや川下りを実施する
- 特産品を使った料理体験など、地域の魅力にふれあうイベントを行う

語り部の育成

- 熊野古道の語り部の人数を増やす
- ガイド内容の質的向上を図るため、ガイド養成講座を行う
- 地元の人による「まちの語り部」や「外国語のできる語り部」を充実させる

古民家活用の交流拠点整備

- 地域の古民家の有効活用策として、ギャラリーやふれあいの場として開放する
- 飲食・物販店や宿泊施設など、交流拠点としての展開を検討する
- 過疎化で廃校となった小中学校の有効活用について検討する

ご当地の味の提供

- 地元の食材を用いた料理を飲食店と協働して提供したり、イベント時にもてなしたりする

周遊性の検討

- まちの魅力をつないで、この地域で長く過ごしてもらうための、周遊ルートづくりを行う
- 伊勢から熊野三山まで熊野古道を通して歩くことや、船や自転車の利用などの周遊性を検討する

③広域的なつながりづくり

地域内の連携の強化

- 熊野古道の各峠やそれらを結ぶまちなかのウォークイベントなど、さまざまな協働企画を開催し、地域で盛り立てる

多様な媒体による情報発信

- 熊野古道や観光スポット、伝統行事、地域特産品などの地域資源や、風景街道に関する構成団体の活動などを広く紹介するパンフレットを、国や地元をはじめ広く一般の方々に向けて作成・配布する
- シンポジウムやフォーラムなど、日本風景街道と地域の取組について考え、議論する場を作る

紀伊半島3県での交流

- 熊野古道に関連する三重県、和歌山県、奈良県の連携を図り、活動情報などを交換する交流会を開催する
- 風景街道の取組が情報連携しやすいように、ホームページのリンクを行う

全国の日本風景街道の仲間との情報交換

- 国で準備する掲示板や情報誌を活用し、全国的な情報交換を図る

※1 写真提供：伊勢志摩きらり千瀬HP
※2 写真提供：紀南地域活性化協議会

構成団体の活動紹介

NPO法人 ア・ピース・オブ・コスモス



「a piece of cosmos」、これは「宇宙の一片」という意味。ひとりの小さな力が集まって、やがて大きな輪に…そんな思いを込めて設立。

- 活動開始:平成7年12月
(アジサイの植栽大会は平成8年度から実施)
- 実施頻度:4回/年
- 現在会員数:25名

うどの地区花づくりグループ



活動(花の植栽、管理、清掃)を通して地域の思いやりの輪が広がる事を目標としています。

- 活動開始:平成15年3月13日
(うどのそん花づくりグループとしては、平成13年夏より実施)
- 実施頻度:2回/月、水やりは毎日交代
- 現在会員数:47名

大内山婦人会ピュアグリーン



国道42号をドライバーの皆さんに気持ちよく走って欲しい。そんな思いで清掃と花の植栽を行っています。

- 活動開始:平成14年11月18日
(個人ボランティアによる活動もあり)
- 実施頻度:1回/月
- 現在会員数:27名

国土交通省紀勢国道事務所

三重県の中南勢、伊勢志摩および東紀州地域の主要幹線道路の整備・維持管理事業を行っています。皆様との対話や協働作業を通じて地域の活性化を目指し、安全で快適な道づくりを推進していきます。

中日本高速道路(株) 松阪工事事務所

NEXCO中日本では、信頼性の高い高速道路ネットワークを構築します。2008年度開通を目指して近畿自動車道尾鷲勢和線(紀勢～大宮大台)の工事を進めています。

三重県

風光明媚な国道311号の管理をしています。また、良好な景観の形成及び風致の維持を推進するため、国道42号において屋外広告物沿道景観地区を指定するとともに、景観形成維持基準を設けました。

熊野古道花街道/花の窟花街道



国道の改修に伴い住民の要望を受けて国土交通省が歩道に延長3km(70箇所)の花壇を整備しました。花づくりボランティアは自宅に近く、体力に合った場所を選び、自分の花壇として担当する里親制度を採用しています。2002年にボランティアグループ「熊野古道花街道」、と2003年に「花の窟花街道」、「七里御浜花街道」の3つが誕生し、6年目を迎えて子供たちも大人以上の戦力です。

- 現在会員数:150名

膳



離農で荒れ放題の休耕田が目立つ地域の有り様を見て、「なんとかして“活きた”農地にしたい」との思いから有志で結成。「膳」は禅(人の心)、善、繕の意味を持つ。

- 平成13年:結成、休耕田の景観保全活動
- 平成15年:マコモタケの栽培、熊野古道の整備
- 平成17年:熊野古道沿いの修景
- 現在会員数:5名

三重県トラック協会南紀支部



運送業に携わるものとして、毎日お世話になっている道路をきれいにしようと清掃活動を始めました。

- 活動開始:平成13年8月1日
- 実施頻度:1回/月
- 現在会員数:20名

東紀州地域活性化事業推進協議会

(4月1日より「東紀州観光まちづくり公社」に名称変更)



地域の自然・文化・産業等を活用した施策を推進することにより、東紀州地域の活性化を図ることを目的に、地域内の8市町村(当時)と三重県が共同で設立した組織であり、ホームページや各種パンフレットあるいはポスターなどにより、熊野古道伊勢路や東紀州地域の様々な情報を発信するほか、地域の活性化を進める人材を発掘・育成する取組や地域の人々と連携した地域活性化の取組などを実施しています。

構成団体の活動紹介

熊野川体感塾

(3月17日まで部会活動は、「熊野川部会」として活動)



「川の古道/世界遺産・熊野川」の魅力をまるごと体感できる交流空間づくりをテーマにまちづくりを実践しています。

- 活動開始:平成16年8月
- 現在会員数:21名

古道魚まち歩観会



「熊野古道のロマン」と「漁師まちの温もり」とのふれあいがもたらすやすらぎの交流空間づくりをテーマにまちづくりを実践しています。

- 活動開始:平成16年9月
- 現在会員数:44名

風伝峠部会



「風伝の“風”」にのり、峠・千枚田・まちを巡り、先人の知恵や歴史・文化にふれあう交流空間づくりをテーマにまちづくりを実践しています。

- 活動開始:平成16年9月
- 現在会員数:14名

馬越峠・尾鷲市部会



「自然の恵みを受継ぎ、熊野古道とともにまちの賑わいと人の暮らしぶりにふれ合う交流空間づくり」をテーマにまちづくりを実践しています。

- 活動開始:平成16年9月
- 現在会員数:26名

馬越峠・海山部会



「石畳の馬越峠から、「海・山・川」の魅力広がる権兵衛のふるさとへと招く交流空間づくり」をテーマにまちづくりを実践しています。

- 活動開始:平成16年8月
- 現在会員数:16名

松本峠・熊野市部会



松本峠・熊野市部会では、「まちの原風景」から神々との出会いへといざなう“癒し”“もてなし”の交流空間づくりをテーマにまちづくりを実践しています。

- 活動開始:平成16年8月
- 現在会員数:13名

行政6団体の紹介

尾鷲市

日本有数の豊富な雨と温暖な気候に育まれた町、尾鷲。山の緑、海の碧、魚の味どりが自慢です。

紀北町

緑豊かな森林資源と黒潮踊るリアス式海岸の漁場にめぐまれた、海・山・川と3拍子揃った町です。

熊野市

ダイナミックな熊野灘や棚田、溪谷の光景と花の窟、徐福など歴史、伝説に彩られたロマンがあふれています。

御浜町

御浜町は「年中みかんのとれる町」としていろいろな種類のみかんを栽培しています。生産量も三重県一です。

大紀町

海、山、川あり、自然の宝庫、大紀町。清流宮川を中心に豊かな自然体験を満喫できます。

紀宝町

きらめく熊野川、雄大な熊野灘、季節を感じる山々に囲まれた紀宝町は、ウミガメ保護条例を全国に先駆けて制定し、ウミガメ保護等に取り組む町です。

【日本風景街道について】

日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)は、自然、歴史、文化、風景などをテーマとして、「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した、美しい街道空間の形成を基本方針とし、沿道も含めて幅広く「既に美しい街道」に加え「美しくなりうる街道」を包含し、自動車、自転車、歩行の3つのモードに対応する官民協働などのさまざまな主体の連携による、沿道のさまざまな活動との連携を想定した事業として位置づけられています。

私たちの地域の魅力・誇り

私たちの暮らす三重県南部地域は、素晴らしい地域の魅力と誇りにあふれています。例えば、海、山、川などの豊かな自然に囲まれ、特徴的な生活文化を持ち、固有の歴史文化を大切に保全しています。また、地域の魅力を高め、来訪者をもてなす取組が実施されています。

豊かな自然(海、山、川など)

私たちの地域には、黒潮流れる熊野灘と奥深い山々、険しい谷を流れる川などの日本の原風景と呼べる景観があります。



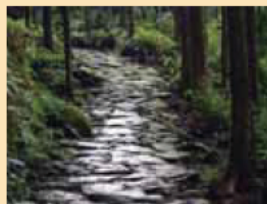
熊野灘(七里御浜)



大内山川※

固有の歴史文化(熊野古道、川舟など)

私たちの地域には、世界遺産熊野古道「伊勢路」や川の参詣道である「熊野川」などの歴史文化の資源があります。



熊野古道(馬越峠)



熊野川(川舟)

特徴的な生活文化(千枚田、漁港など)

私たちの地域には、農業や漁業などの第一次産業を基盤とした生活文化の資源があります。



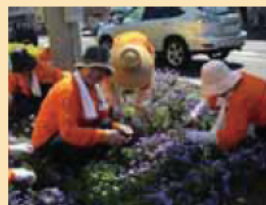
丸山千枚田



須賀利漁港

地域の魅力を高め、来訪者をもてなす取組 (私たちの活動など)

私たちの地域では、各地で来訪者をもてなすための地域活動が実行されています。



国道沿いの花の管理



まち歩き体験



国道沿いの花壇



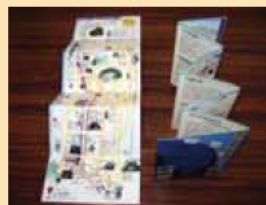
古道散策イベント



案内サインの設置



案内サインの設置



まち歩きマップの作成



まち歩きマップの作成

※写真提供:伊勢志摩せらり千遍HP

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会

(<http://www.pref.mie.jp/doroki/hp/sb/sbindex.htm>)

事務局：三重県県土整備部 高速道・道路企画室 TEL 059-224-2739 FAX 059-224-2310
景観まちづくり室 TEL 059-224-2747 FAX 059-224-3161